

科目名	哲 学	科目コード n0450
-----	-----	----------------

学科名・学年	全学科5学年 (プログラム2学年)	担当教員	鈴木 覚		
単位数	2単位・選択	開講期間	通年	時間数	60時間
				内訳(時間)	講義(52), 演習(0) 実験(0), その他(8)
教科書	なし				
補助教材	プリント				
参考書	西脇与作：現代哲学入門（慶應義塾大学出版会） 野家啓一：科学の哲学（放送大学教育振興会）				

A 科目の概要	
<p>哲学の歴史的展開、すなわち、哲学史を学ぶというのが、哲学の世界への一つの確立されたアプローチ方法であるが、本講義では、哲学史の流れにあまりとらわれずに、哲学が対象とする主要なテーマ（科学、存在、認識、知識、行為、倫理、宗教、時間、論理）を、問題中心的に考察する。これによって、「哲学すること」に対するより深い理解が期待される。</p>	
B 到達目標	
<p>科学哲学の基礎的事項を理解する。 存在論、認識論など伝統的な諸問題について理解する。 価値の領域における哲学的諸問題について理解する。 論理学の基礎的事項について理解する。</p>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(A) [A1]
D 履修上の注意	
<p>自分の頭で主体的に考えるというのが哲学的態度である。授業にもこのような態度で臨んでもらいたい。</p>	
E 評価方法	
<p>科学哲学の基礎的事項についての設問により理解度を評価する。(25%) 存在論、認識論など伝統的な諸問題についての設問により理解度を評価する。(25%) 価値の領域における哲学的諸問題についての設問により理解度を評価する。(25%) 論理学の基礎的事項についての設問により理解度を評価する。(25%) 定期試験【70%】(前期中間(17.5), 前期末(17.5), 後期中間(17.5), 後期末(17.5))、その他の試験【0%】、レポート【20%】、その他【10%】(授業への参加度)の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	哲学的思考とは	
2	科学と哲学(1) 古代自然哲学	
3	科学と哲学(2) - 近代科学と聖俗革命 -	
4	科学と哲学(3) - 近代的自然観 -	
5	科学と哲学(4) - 批判的合理主義と反証可能性 -	
6	科学と哲学(5) - 科学的相対主義 -	
7	科学と哲学(6) - 科学と生活世界 -	
8	試験	
9	存在と認識(1) - 個と普遍 -	
10	存在と認識(2) - イギリス経験論 -	
11	存在と認識(3) カントの認識論	
12	知識について(1) - 知識の種類 -	
13	知識について(2) - 懐疑論 -	
14	知識について(3) - 言語と思考 -	
15	試験	
16	行為と倫理(1) - 自由と決定論 -	
17	行為と倫理(2) - 事実と価値 -	
18	行為と倫理(3) - 進化論と倫理学 -	
19	宗教について(1) - 環境保護とアニミズム -	
20	宗教について(2) - 実存と信仰 -	
21	宗教について(3) - 神の存在証明 -	
22	宗教について(4) - 無神論とニヒリズム -	
23	試験	
24	時間について(1) - 時間論の歴史 -	
25	時間について(2) - 現代の時間論 -	
26	論理について(1) - 論理と推論 -	
27	論理について(2) - 推論の正しさ -	
28	論理について(3) - パラドクス -	
29	論理について(4) - 弁証法論理 -	
30	試験	